

上尾市水道事業では、事故や災害への対応に重点を置いた「実動班」を令和2年3月に編成し、さまざまな状況に即した訓練を実施しています。

「実動班」の講習や訓練を継続することで、事故や災害が発生した際に迅速な対応ができる職員を育成しています。

今回は、令和8年4・5月に行った訓練内容について報告します。

応急漏水修繕(管の側面部からの漏水)の実施

令和8年4月23日(木)に、管の側面部からの漏水を想定した応急漏水修繕を実施しました。

講習は、漏水している水道管に木栓を直接打ち込み、応急的に止水する作業を実践形式で行いました。

管上部からの漏水を想定した応急漏水修繕と比べ、作製する木栓の長さや現場状況の違い等があり、受講生は講師から説明を受けながら作業を進めていきました。受講者にとって、また新たな技術習得の機会となりました。



使用する木栓を作成



側面部からの漏水を想定した再現



木栓を使用して打ち込みを実施



木栓の打ち込みにより止水されていく様子

管洗浄方法習得のための講習会

大きな漏水などが起こり水道管内の流れが急に変化すると、濁水が発生することがあります。この濁水を取り除くために「管洗浄」を実施します。少しでも早く市民生活が再開できるよう、迅速かつ効果的な管洗浄方法の習得を目指しています。

訓練は、職員の習熟度に応じて、3つの階級に分けて実施しています。

基礎講座



5月7日(木)には、主に水道事業に初めて従事する職員に向けた講義を実施しました。

水道施設の配置や、水道管を仕切る弁の構造、配管図の読み方、水道管の口径と水の流れ方など、管洗浄を行うために必要な基礎知識を学びました。

管洗浄3級に認定された者を対象とした訓練



4月30日(木)、5月14日(木)には、前年度までに管洗浄3級の試験に受かった者を対象として、グループワーク形式の訓練を実施しました。

例題に対し、事実を把握すること、事実から事態を想定すること、想定に応じて対応方法を導き出すことを意識して、それぞれのグループが解決策を考え、発表し、講師から解説を頂きました。

指揮能力養成課程を対象とした訓練



5月21日(木)・25日(月)には、各種試験の認定を受け「指揮能力養成課程」とされた者を対象とし、訓練を実施しました。

管路事故対応の注意点、非常時の基本対応・心構え、指揮者の心構えなど、これまでの訓練の定着度を量る課題が出題されました。

受講者にとって、現時点の能力を確認し、今後必要な訓練について考える機会となりました。